

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
一宮市はとぼっぽ		2026年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	活動内容によって配置の工夫や医療ケアが必要な子どもにはパーティションを使いスペースを確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		欠員のままなので増員に向けてお願いしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		ワンルームしかない為、玩具の棚など扉やカーテンで目隠しする必要がある為適切とは言えない部分があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日、降園後の消毒、必要に応じて消毒を行っています。活動に合わせて遊具を出し入れしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	医療ケアが必要な子どもや必要な時にはパーティションを使いスペースを確保しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日振り返りを行い、場面を共有しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		意識するよう努めているが意向を把握する機会を設けているとはいえない面もあるので計画に入れ、改善に努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	継続的に行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部、園内（講師を招いて）研修に参加しています。研修内容を報告し、共有する時間を必ずつくっています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	作成、ホームページで公表しています。	周知に努めていきます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	子どもの姿や発達のついて話し合い、計画を作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員間での共通理解の上、支援をしています。必要時応じて見直しをおこない取り組んでいます。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	遠城寺式を使用していますが、こどもの姿も含め、職員間で話し合い、確認しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	可能な限り時間を使って話し合い、その時点でのこどもの姿、保護者の意向を捉えて内容を検討し、具体的な支援内容を設定しています。個別に必要なことを分かりやすく具体的な内容を示すこと進めています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員間で話し合いながら進めています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	こどもの姿に合わせて進めます。また、季節感を取り入れる等、工夫しています。	繰り返しの必要な分と初めての経験も取り入れ幅広い経験をめざしています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別の課題を踏まえ、集団での活動も考え計画を作成しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝、必ず打ち合わせを行っています。内容、役割等確認し支援をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	毎日療育、こどもの姿など話し合い、確認、見直しを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日報（支援の内容）、こどもの姿を毎日記録し支援の検証改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		参加の回数が少なく、評価に難しさを感じることはあるが、必要性を伝え、定期的にモニタリングを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		連携は心掛けているが、十分とは思えない場面も多々あるので、どの様な連携ができるのか検討しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	訪問をできるような取り組みをしています。また、親子通園なので保護者からの聞き取りも行き、支援しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		就学までの在籍はいません。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	療育の様子を見学して頂き、また研修に参加するなど助言等を受ける機会があります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	次年度通園を希望している児のみ見学、体験する機会に参加しています。	通常は門を開けてもらってない。交流や地域の中での活動は施設の場所や特性によって難しい所もあります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	親子通園の為、日頃から保護者と話す時間をもち、共通理解に努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	療育支援事業や勉強会など定期的実施し、家族での参加を勧めています。療育の中でも保護者同士の話す時間を定期的につけています。	多くの方に参加できるように早めに発信していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	入園時にはわかりやすく丁寧に説明をするよう努めています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	保護者も話しやすい環境と時間をつくり、具体的に分かりやすい説明を心掛け同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	親子通園のため、常時対応できるように努めています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	療育中に保護者同士の交流する時間を作っています。同窓会を開催し、家族きょうだい、卒園保護者も参加し、交流する機会を設けています。	卒園保護者との連携を維持できることは必要と考えています。今後も機会を作っていけるようにしていく為、検討しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	親子通園のため、常時対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	予定表を配布しています。また、口頭や掲示して発信しています。今年度は行事の感想を掲示し発信しています。保護者の方たちに周知できました。	ホームページの更新はできなかった。活動などを掲載したいが、人材不足もあり難しいところもあります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	守秘義務の遵守を徹底しています。書類は持ち出し禁止鍵棚に保管、外部への漏洩など徹底しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	細やかで丁寧な配慮を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		十分とは言えないが、何かできること心掛けています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	避難訓練はいろいろな想定を設定し行っています。保護者にも共有、周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		BCPを策定し、訓練を行なったが、今後事業所に特化したものも訓練を検討していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	保護者に確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画の作成し、計画的に訓練、研修をおこなっています。職員間で安全について共通理解をし、支援をしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全計画に基づき、保護者に対して定期的、必要に応じて伝え、周知に努めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	毎日の振り返りで出し合い、確認、共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	年3回委員会の実施、事例検討から対応の仕方や未然に防ぐ対応など研修を実施しています。外部研修にも参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	入園時や支援計画の説明時に行っています。また療育中にその都度伝えています。		